

# 農業会議だより

第40号(令和4年11月)発行：一般社団法人佐賀県農業会議

1. 農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書を提出
2. 農業委員会事務局長会議を開催
3. 農業者年金加入推進特別研修会を開催
4. 佐賀県農業委員会女性協議会総会・研修会を開催
5. 女性委員の登用要請活動を実施
6. 雇用就農資金の募集
7. 有田町農業委員会の取り組みについて
8. 農業者年金の加入推進
9. 全国農業新聞の普及推進・全国農業図書の紹介
10. 常設審議委員会の結果(9・10月)/行事予定

## 1. 「農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書」を山田農林水産部長に提出

佐賀県農業会議の山口会長、佐藤副会長は10月17日に「農地利用の最適化を強化するための意見書」を山田農林水産部長に提出しました。

意見書は、農地利用の最適化の推進や農業関係予算、各種施策等に反映させるため、県下全20市町で実施された農業者との意見交換会の実施結果や、農業委員・推進委員が日頃の活動に取り組む中で出された農業者からの意見、要望等を取りまとめたものです。

農業会議において、農業委員会会長会議や常設審議委員会の意見等も踏まえ、農業委員会法第53条に基づき実施しました。

意見書を提出した後、山田部長と担い手の確保・育成対策や経営継承対策、中山間地域の鳥獣被害、遊休農地対策など現場で直面している課題を中心に意見交換を行いました。



↑山田農林水産部長(中央)に意見書を提出する  
山口会長(右)と佐藤副会長(左)

## 【意見書の項目】

1. 燃油・肥料等の価格高騰対策について
2. 担い手の確保・育成対策について
3. 経営継承対策について
4. 農地の基盤整備について
5. 中山間地域の鳥獣被害、遊休農地対策について
6. 農業委員会の体制整備と交付金等予算の確保について
7. 農業会議の運営基盤の安定確保措置について

---

## 2. 市町農業委員会事務局長会議を開催

農業会議は10月18日に佐賀市で市町農業委員会事務局長会議を開催し、31名が出席しました。内容は下記のとおりです。

1. 農業委員会による最適化活動の推進等について
2. 令和5年度農業委員会関係予算について
3. 基盤法等の改正に係る農業委員会の対応について
4. 農業委員会サポートシステムの利活用について
5. 女性委員の登用促進について
6. 令和4年度農業者等との意見交換について
7. 農業会議令和5年度会費について

農業委員会による最適化活動について、各委員会で取り組みに温度差があるものの、すべての委員会で目標設定されました。また、委員の活動記録簿の記載について、「どのような活動が最適化なのか」といった声もありました。農業会議では、要請に応じて活動記録の方法についても支援を行っていきます。

農業委員会サポートシステムの利活用については、システムのデータ更新が農地利用最適化交付金の事業実施要件になっているため、必ず11月11日までにシステムへのデータ更新をお願いします。

地域計画の策定について、「農業委員会に対しては、研修会や会議の場で説明があっているが、市町農政部局はほとんど情報がない。県はどのように対応しているのか？」という質問に対し、県農業経営課は「今後、県主催で地域計画策定に向けた説明会を実施する」と回答されました。今後、地域計画の策定に向けて、各機関・組織の連携や情報共有がさらに重要視されていくこととなります。

---

### 3. 農業者年金加入推進特別研修会を開催

農業者年金基金・JA中央会・当会議は、農業者年金制度について理解を深め、より一層の加入推進を図るため、9月9日、佐賀市内で研修会を開催し、加入推進部長や女性委員、関係機関職員等約130名が参加しました。

冒頭に、昨年度の加入推進に大きな功績があった白石町農業委員会及びJAさがに対し、農業者年金事業表彰を行いました（内容は以下の表のとおり）。

研修では、農業者年金の制度概要や加入推進の取り組み方を実践したDVDを上映した後、特定社会保険労務士の藤本紀美香氏より「他の年金制度と農業者年金について」と題し講演をいただきました。農業者が加入できる国民年金の上乗せ制度（公的年金）としては、農業者年金、国民年金基金及び個人型確定拠出年金（iDeCo）があり、藤本氏はそれぞれの制度の特徴に加え、財政方式や運用方法、税制面での違い等について解説されました。また、公的年金以外の制度も紹介され、社会保障と組み合わせて将来に備えることが大切だと話されました。

参加者からは、「自分の知識を高め、関係者と情報共有しながら加入推進を実施していきたい」などの声が聞かれました。

表彰対象	受賞した理事長賞	全国順位
白石町農業委員会	目標達成度合い（20歳から39歳新規加入目標数5人から9人）部門	第1位
JAさが	新規加入者部門	第2位
	新規加入者（39歳以下）部門	第2位
	新規加入者（女性）部門	第3位
	目標達成度合い（20歳から39歳新規加入目標数10人以上）部門	第1位
	目標達成度合い（女性新規加入目標数5人から9人）部門	第2位



↑白石町農業委員会



↑JAさが



#### 4. 佐賀県農業委員会女性協議会総会・研修会を開催

佐賀県農業委員会女性協議会（会長：岩橋久美）は、8月30日、佐賀市で第14回総会を開催しました。以下の全議案について承認されました。

第1号議案 令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について

第2号議案 令和4年度事業計画並びに収支予算について

第3号議案 令和4年度会費の額及び納入時期について

総会終了後には、研修会を開催。農地利用最適化活動と活動記録簿について農業会議事務局から説明後、活動記録の記録の取り組みや課題等についてグループワーク形式で意見を交わしました。

農業委員会は、農地利用の最適化について、活動目標の設定、活動記録の点検・公表をすることとなり、これまで以上に活動の見える化に取り組むこととなりました。

このため、「最適化活動に係る活動記録の記入と点検」、「活動記録を今後の委員会活動にどのように活かすのか」をテーマに設定し、5班に分かれ意見を出し合いました。

参加者からは、「毎月の総会時に記録簿を書く時間を設けてほしい」、「定期的に記録簿の内容についての報告会を行い、活動内容を共有することが大切」などの意見が出されました。



↑ 研修会の様子

---

#### 5. 女性委員の登用要請活動を実施

佐賀県農業委員会女性協議会（会長・岩橋久美）は10月12日～14日、令和5年度に改選が行われる県内13市町の農業委員会に対し、女性委員の登用に係る要請活動を行いました。

農業委員会においては活動のさらなる活性化に向けて、農業委員と推進委員には、農業・農村の振興に熱意と行動力のある多様な人材が求められています。

特に、女性委員の登用については、令和2年12月に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」において、農業委員など指導的地位に女性の占める割合が30%（令和7年度まで）になるよう成果目標が定められているところです。

こうした中で、農業委員会女性協議会は「女性委員が1人も登用されていない農業委員会の解消」と「1農業委員会あたり2名以上の女性登用」を目標に掲げ、登用要請活動を実施しました。



↑ 要請活動の様子

## 6. 雇用就農資金の募集について（ご案内）

農業経営者の皆さまへ

# 雇用就農資金

全国農業会議所は、49歳以下の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を助成する「雇用就農資金」を実施します。

今回、本事業のうち以下2タイプの募集を行いますので、事業実施を希望される場合は、**令和4年10月26日(水)～12月1日(木)(必着)**に各都道府県農業会議等に必要な申請書類をご提出ください。

- ◎**雇用就農者育成・独立支援タイプ**：農業法人等が就農希望者を雇用し、農業就業又は独立就農に必要な実践研修を実施する場合に資金を交付
- ◎**新法人設立支援タイプ**：農業法人等が、新たな農業法人を設立して独立就農することを目指す者を雇用して実践研修を実施する場合に資金を交付

（※ 農業法人等が職員等を次世代の経営者として育成するために実施する派遣研修を支援する「次世代経営者育成タイプ」も実施しています（随時受付）。）

### 助成内容

支援タイプ	助成期間	助成額※1,2
雇用就農者育成 独立支援タイプ	<b>最長 4年間</b>	年間最大 60万円（月額5万円）
新法人設立支援 タイプ		年間最大120万円（月額10万円） （3-4年目は最大60万円）（月額5万円）

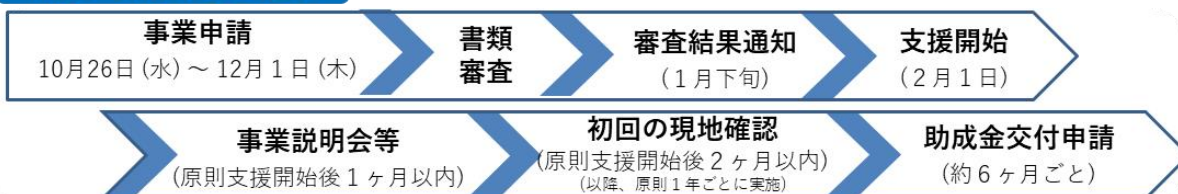
※1）各タイプともに、新規雇用就農者が多様な人材（障がい者、生活困窮者、刑務所出所者等）の場合は、年間最大15万円（月額1.25万円）が加算されます。

※2）事業実施期間が3ヶ月未満の場合は助成金は交付されません。

### 募集期間等

募集回	募集期間	支援期間	支援対象となる 新規雇用就農者の採用日
第3回	2022年10月26日～12月1日	2023年2月1日～2027年1月31日	2022年2月1日～2022年10月1日

### 応募～採択後の流れ



### 事業に関する問合せ先

- ・詳細は、佐賀県農業会議 鬼崎・徳永へお問い合わせください。
- ・募集要領・申請様式等は、以下の公式HPでご確認ください。

公式HPは **雇用就農資金** で検索 [https://www.be-farmer.jp/farmer/employment\\_fund/original/](https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/)



## 7. 有田町農業委員会の取り組みについて

### ①農業委員会の体制

農業委員9名、推進委員8名（令和3年4月20日～令和6年4月19日）

### ②有田町の農業の特色

有田町は、佐賀県の西部に位置し、長崎県と隣接しています。町の中央部に有田川が流れ、川の両側に田畑が広がっています。また、有田川を挟むように西部に国見山、東部に腰岳、南部に丘陵地帯があり、棚田の多い中山間地域を形成しています。

主な作付けは、米、麦、大豆です。その他、露地野菜の高菜、たまねぎの栽培や施設園芸のアスパラ、きゅうり、きんかん、ぶどう、いちごなどの栽培も行われております。また、畜産も盛んであり、町の農産物の一翼を担っています。



↑ 岳の棚田

### ③有田町農業委員会の取り組み



↑ 農業委員会活動記録研修会風景

有田町では、農業委員と農地利用最適化推進委員と一緒に活動しており、各地区担当2名～4名に振り分け、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消のための農地の見守り等を行っています。

毎月の総会では、農地の権利移動に対する意見書作成、農業経営基盤強化促進法の利用権設定の審査なども行っています。

また、新規就農者を中心に農業者年金の加入推進を行い、安心して農業経営ができるよう活動を続けています。

## 8. 農業者年金加入推進

市町名	目標	加入状況	達成率
佐賀市	8	3	38%
唐津市	14	4	29%
鳥栖市	1	0	0%
多久市	1	0	0%
伊万里市	4	0	0%
武雄市	1	2	200%
鹿島市	3	0	0%
小城市	2	2	100%
嬉野市	3	1	33%
神埼市	1	0	0%

市町名	目標	加入状況	達成率
吉野ヶ里町	1	0	0%
基山町	1	0	0%
上峰町	1	0	0%
みやき町	1	1	100%
玄海町	2	1	50%
有田町	1	1	100%
大町町	1	1	100%
江北町	1	1	100%
白石町	8	17	213%
太良町	3	1	33%
計	58	35	60%

令和4年度の農業者年金の新規加入者の加入状況は上表のとおりです。普段より加入推進活動ありがとうございます。

### 保険料について

- ・政策支援を受ける場合の保険料

保険料は月額2万円（固定）

↳要件によって補助額が変わりますが、最大で1万円の補助を受けられます。

（下表参照）

区分	要件	本人負担の保険料（補助額）			
		35歳未満		35歳以上	
1	認定農業者かつ青色申告者	1万円	(1万円)	1万4千円	(6千円)
2	認定就農者かつ青色申告者	1万円	(1万円)	1万4千円	(6千円)
3	区分1または2の者と家族経営協定を締結し経営に参画している配偶者または直系卑属	1万円	(1万円)	1万4千円	(6千円)
4	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす農業者で3年以内に区分1の要件を満たすことを約束した者	1万4千円	(6千円)	1万6千円	(4千円)
5	区分1または2の要件を満たしていない者の直系卑属であり、35歳まで（25歳未満の者は10年以内）に区分1の要件を満たすことを約束した者	1万4千円	(6千円)	—	

- ・通常加入の場合の保険料

保険料は月額2万円～6万7千円（千円単位で変更可能）

↳政策支援の対象にならない35歳未満の方は月額1万円～6万7千円

## 納付方法について

- ・ 毎月納付

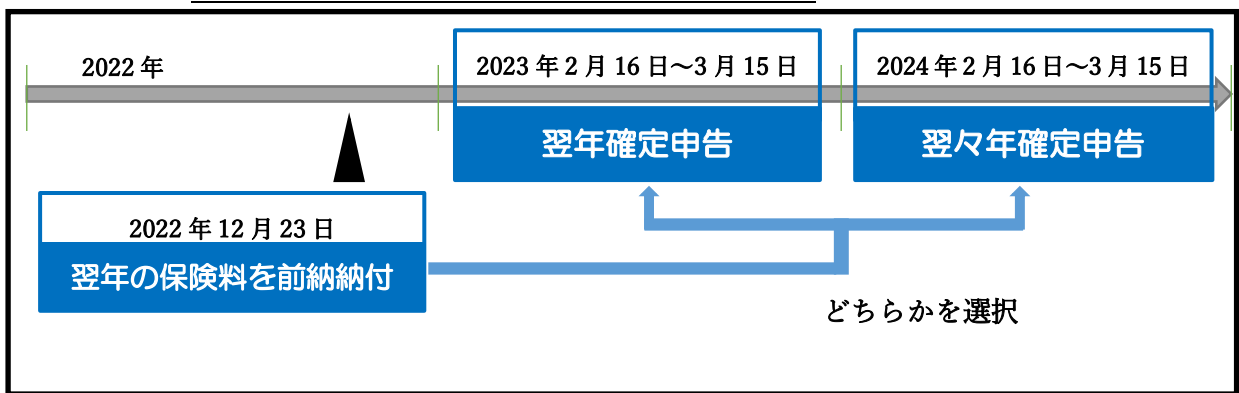
1 か月分を毎月納付する 毎月納付（毎月 23 日自動振替）  
保険料の変更は 毎月 15 日まで。

- ・ 前納納付

翌年 1 年分をあらかじめ一括して納付する 前納納付（毎年 12 月 23 日自動振替）  
保険料の変更は 前年の 11 月 15 日まで。

割引（各月の保険料を年 0.1%の複利原価法による割引）がある。

前納納付は 社会保険料控除の対象とする年を選択可能。（下図）





## 9. 全国農業新聞・全国農業図書を紹介

### ○全国農業新聞

・10月時点での購読状況

市町	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
佐賀市	233	177	56	0
唐津市	145	110	35	21
鳥栖市	54	38	16	0
多久市	56	46	10	0
伊万里市	87	68	19	1
武雄市	91	67	24	0
鹿島市	88	61	27	18
小城市	76	52	24	32
嬉野市	74	56	18	4
神埼市	86	80	6	1

市町	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
吉野ヶ里町	46	34	12	8
基山町	26	19	7	2
上峰町	22	17	5	0
みやき町	42	29	13	0
玄海町	36	28	8	0
有田町	47	34	13	3
大町町	23	16	7	0
江北町	48	39	9	4
白石町	74	53	21	7
太良町	49	41	8	1
農業会議	97	92	5	
	1,500	1157	343	102

10月時点での購読状況は上表の通りです。9月には、農業委員・推進委員の新規購読申込が3件あり、多久市が農業委員・推進委員の皆購読を達成。

- ・令和4年度から3か年の普及対策新運動が始まりました。  
「農地利用の最適化を強化するための全国農業新聞3か年」における普及目標  
「農業委員・農地最適化推進委員一人毎年1部以上の新規購読の確保」  
→まずは推進を行う農業委員や推進委員が皆購読を！  
※電子版の購読でも購読率にカウントします。

#### 全国農業新聞を読むメリット

- ・農業委員や推進委員が自ら読むことで、農業委員会が行うべき活動や全国各地の農業委員会の活動を知ることができます。  
→「農業委員会活動の差は情報の差！」
- ・農業者や関係者に全国農業新聞を読んでもらうことで、農業委員会活動や農業施策等を知ってもらうことができます。  
→「読んでもらうことで委員会活動がしやすくなります。」

## ○全国農業図書

刊行一覧こちら⇒ <https://www.nca.or.jp/tosho/>

勘定科目別農業簿記マニュアル

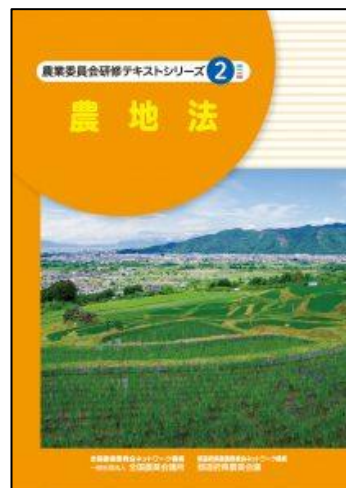
### 農業委員会研修テキストシリーズ②農地法

農地制度の概要、農地法にもとづく農業委員会・農業委員の業務についてわかりやすく説明したテキストです。

利用状況調査・利用意向調査の見直し、現地確認・勧告の実施時期の見直しのほか、令和3年3月の施行規則改正による農地所有適格法人の事業要件の改正等を反映しています。

研修教材として、総会・部会等での参考資料として幅広く活用できる内容です。

【税込 480 円】



### 新・農地の法律がよくわかる百問百答 改訂三版

農地法、基盤法、農地中間管理法、特定農地貸付法、市民農園整備促進法に加え、改訂3版では新たに生産緑地法、都市農地貸借円滑化法の2法の間答を追加し、さらに充実。農地に関わる法律制度ごとに、わかりやすく解説しています。

平成30年、令和元年の農地制度改正等を反映しています。

民法まで含めた広範な相談に対応する「農地全書(31-46)」と併せて是非ご活用下さい。

【税込 2,400 円】



### 農地法の解説 (改訂三版)

法律の条文ごとに、政令、省令、事務処理基準、運用通知、事務処理要領などの基本的な通知だけでなく、過去の通達や照会への回答、判例等も引用し、順序立てて農地法の全体像を基礎から詳細まで分かりやすく説明した解説書です。

「法令や通達集だけでなく、より親切で詳しい本が欲しい」という切実なニーズにお応えします。「良書です。自宅用にも買って愛読しています。改訂版の刊行を心待ちにしています」という農業委員会女性職員の声も寄せられています。

【税込 3,600 円】



## 10. 常設審議委員会結果（令和4年9・10月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構(佐賀県農業会議)に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議されました。

第78回、第79回の件数及び面積については、以下のとおりです。

<農地法関係処理状況>

○審議件数

第78回	9月15日	第4条	0
		第5条	8
第79回	10月17日	第4条	1
		第5条	9
		第41条	1

○田畑別件数及び面積(m<sup>2</sup>)

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第78回	9月15日	第4条	0	-	0	-	0	-
		第5条	1	1,154	3	11,776	3	12,930
第79回	10月17日	第4条	1	5,947	1	1,768	1	7,715
		第5条	8	30,703	3	1,780	8	32,483
		第41条	1	1,057	0	-	1	1,057

## 11. 今後の行事予定

月	日	時間	場所	内容
11	8	13:30	太良町	農業委員会職員地区別研修会（杵藤地区）
	9	13:30	玄海町	農業委員会職員地区別研修会（東西松浦地区）
	11	13:30	ガーデンテラス佐賀	農業委員会女性委員登用促進研修会
	14	13:30	千代田館（Web併用）	農業者年金担当者研修会
	15	13:30	グランデはがくれ	第80回常設審議委員会
	30	13:00	東京都	農業者年金加入推進セミナー
12	1	13:00	東京都	全国農業委員会会長代表者集会
	15	13:00	佐賀総合庁舎	第81回常設審議委員会
	22	13:30	佐賀総合庁舎	農業委員会職員研修会（農地転用関係）
1	16	13:30	佐賀総合庁舎	第82回常設審議委員会
	30	13:30	武雄市文化会館	令和4年度農業委員・農地利用最適化推進委員研修会（西部地区）
	31	13:30	上峰町民センター	令和4年度農業委員・農地利用最適化推進委員研修会（東部地区）